

資料室 ニュース Vol. 5

2003年1月27日発行



資料室の資料がテレビに！！

— NHK・筑紫哲也NEWS23で放送！ —

資料室で保存している資料が、震災から8年目を向かえた1月17日放送のテレビ番組で活用されました。

NHK

番組内で、「阪神大震災を記録しつづける会」に自らの震災体験記を応募した方の手記が紹介されました。「阪神大震災を記録しつづける会」は1995年5月から毎年、有志を募って被災手記集を発行しています。今回NHKにより放送された手記は、現在「阪神大震災を記録しつづける会」から資料室に寄贈され、資料室で保存しております。

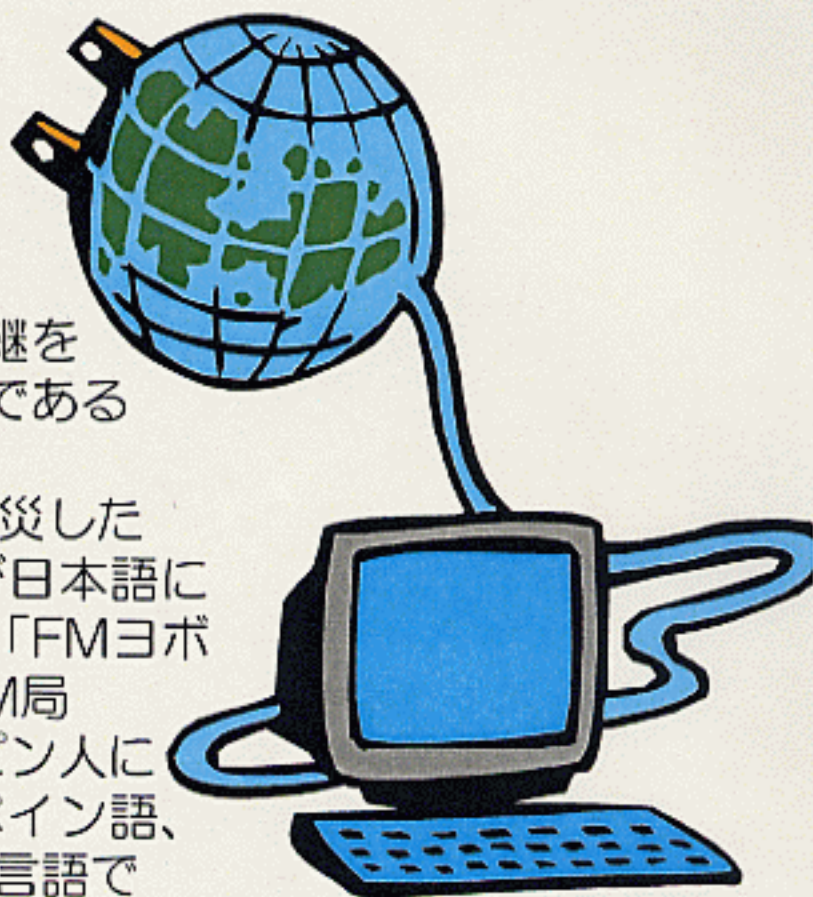
筑紫哲也NEWS23

「筑紫哲也NEWS23」では、筑紫哲也氏が人と防災未来センターの展示フロアから生中継を行いました。それと同時に、長田区のラジオ局である「FMわいわい」からの中継も行われました。

「FMわいわい」は、震災2週間後、長田区で被災した在日韓国・朝鮮人に向けて、韓国・朝鮮語及び日本語による震災情報と韓国音楽を放送するミニFM局「FMヨボセヨ」を前身としてスタートしました。ミニFM局「FMヨボセヨ」開局後、ベトナム人やフィリピン人に向けてタガログ語・英語、南米人に向けたスペイン語、そして広く地域住民に向けて日本語と、五つの言語で放送を開始しました。

FMわいわいホームページ (<http://www.tcc117.com/fmyy/>) より

そのラジオ局「FMわいわい」が当時放送していたテープが、現在、資料室で保存されており、今回の放送のバックで流されました。



震災当時を振り返って・・・Part2

阪神・淡路大震災から8年が経ちました。

人と防災未来センター南側は兵庫県の主催する「メモリアルウォーク2003」の終点になっており、慰霊のモニュメント前で「追悼のつどい」が行われました。

資料室ニュース前号に続いて今回も、当時の状況を振り返ってみましょう。

・阪神・淡路大震災の被害

基礎的被害概要		ライフライン被害状況	
死者数	6433人	水道断水	約130万戸
行方不明者数	3人	ガス供給停止	約86万戸
負傷者数	43792人	停電	約260万戸
家屋被害(全半壊、一部破損含む)	512882棟	電話不通	30万回線超
避難者数(ピーク時)※	316678人		
被害総額※	9兆9268億円	※兵庫県のみ	

消防庁ホームページ 災害情報より 平成14年12月26日現在



・鉄道の被害

区 分	震災直後不通区間(km)	復 旧
JR 新幹線	京都～姫路 (130.7)	平成7年4月8日
JR(東海道・山陽本線)	尼崎～西明石 (48.2)	平成7年4月1日
(福知山線)	塚口～広野 (37.2)	平成7年1月21日
(和田岬線)	全 線 (2.7)	平成7年2月15日
阪 神(本線)	甲子園～元町 (18.0)	平成7年6月26日
(武庫川線)	全 線 (1.7)	平成7年1月26日
阪 急(神戸線)	西宮北口～三宮 (16.7)	平成7年6月12日
(甲陽線)	全 線 (2.2)	平成7年3月1日
(伊丹線)	全 線 (3.1)	平成7年3月11日
(今津線)	全 線 (9.3)	平成7年2月5日
神 鉄(有馬線)	全 線 (22.5)	平成7年6月22日
(三田線)	全 線 (12.0)	平成7年1月19日
(粟生線)	全 線 (29.2)	平成7年1月19日
山 陽	西代～明石 (15.7)	平成7年6月18日
神戸高速(東西線)	全 線 (7.2)	平成7年8月13日
(南北線)	全 線 (0.4)	平成7年6月22日
神戸市営地下鉄	板宿～新神戸 (8.8)	平成7年2月16日
神戸新交通		
(ポートライナー)	全 線 (6.4)	平成7年7月31日
(六甲ライナー)	全 線 (4.5)	平成7年8月23日

震災後、ライフラインという言葉がしきりに使われましたが、何気なくふだん使っている鉄道もライフラインの一つです。いつも使っている電車が走っていない、高速道路も工事中・・・震災直後の神戸に比べると復興は瞬く間に進んだように思えます。復興自体はハード面を整備すれば終わり、というわけではありません。その復興の影にはたくさんの方の力に支えられていたことをいつまでも忘れないでいて下さい。

出典：<http://web.pref.hyogo.jp/syoubou/daishinsai/jyokyo.html>

ペットと被災・・・

きのうの夜、さまよっていたあの子イヌの姿を思いだした。ぼくが「あのイヌをたすけて。」と言ってもだれもふりむいてはくれなかった。家を失い、けがをして、食料も水もなく、人間が不安にさまよっているのだ。だれが動物たちのことまでかまってくれるだろう。だれもいない。

でも、ぼくはわかる、自分が障害を持っているから、よわいものの気持ちはよくわかる。突然、グラグラと地面がゆれ、飼い主とはなれてしまったイヌやネコ、ほかの動物たち。なにがおこっているか、聞くこともできず、知ることもしない。そのときの真っ暗な不安な気持ちがぼくならわかる。

なんとか動物たちをたすけられないだろうか、ぼくは強く思った。
 (『大震災！！イヌ、ネコを救え』 あいのカエル代表奈佐誠司著)

5-B・キュ・9984より抜粋



阪神・淡路大震災のとき、ペットも人間と同じ被災者でした。地震で飼い主とはぐれたり、つながれていて逃げることもできなかつたり、避難所に入れなかつたり、とても怖い思いをしました。しかも人間は、人間のことでせいいっぱいです。避難所に届く物資も人間のもの。救助も人間が優先。でも動物だって同じように不安なのです。

震災後には、被災動物のためのボランティアが活躍し、治療をしたり、一時的に預かって里親を紹介するなどの活動がスタートしました。そうした活動のなかで、動物が心の支えになって生きることのできた人が数多く報告されています。動物の救護は、単に動物の命を救っただけでなく、実は多くの被災した人々を救う活動につながっているのです。普段、身近にいる動物たち。災害時にも力をあわせて対応できるようにしたいですね。

阪神・淡路大震災に伴う被災動物の推定数

(『大地震の被災動物を救うために』 兵庫県南部地震動物救援本部 2-B・4753)

地域	世帯数(A)	全・半壊戸数(B)	B/A	犬・猫の飼育頭数(C)		被災動物推定数(B/A×C)	
				犬	猫	犬	猫
西宮市	162,246	1,253	0.007	10,043	14,603	70	103
芦屋市	33,463	723	0.021	2,728	3,012	58	64
伊丹市	65,690	396	0.006	4,234	5,913	26	36
宝塚市	71,558	5,057	0.071	5,610	6,411	360	458
川西市・猪名川町	46,695	1,389	0.030	5,694	4,203	171	127
洲本市	15,069	648	0.043	2,048	1,315	88	57
津名郡	20,482	7,071	0.345	2,452	1,563	826	540
三原郡	16,410	561	0.034	3,029	1,476	107	50
尼崎市	192,340	512	0.003	8,679	17,311	27	52
神戸市	569,206	41,330	0.076	35,637	51,229	2,602	3,540
合計	1,193,159	58,940	0.049	80,154	107,036	4,335	5,027

あなたは家族の一員であるペットを守れますか？

- ・引き綱、首輪、ケージなどペットを避難・移動できる道具、食料の予備はありますか？
- ・町の外の親戚や友人などペットを連れて行ける安全な場所を確保していますか？
- ・ペットには名札をつけ、飼い主の連絡先だけでなく緊急連絡先も記載してありますか？
- ・ペットの滞在を認めているホテルのリストを用意していますか？



参考文献「大地震の被災動物を救うために」 阪神・淡路大震災シンポジウム運営委員会